

令和7年度 バドミントン部の指導方針等について

1 指導体制

顧問教諭 2名	地域指導員 3名
---------	----------

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
上位大会出場を意識し明確な目標とできる生徒
苦しい練習にも熱心に取り組み、克己心をもち努力する生徒
部員相互に思いやり、励まし合うことのできる生徒
- (2) 競技大会の具体的到達目標
都大会に出場するために、日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
ボランティア活動等の参加を促し、また、試合等では補助役員として大会運営に貢献する。

3—1 顧問による指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間程度、休日3時間程度を基本とする。
月：体育館・増戸小学校体育館 火：休み 水：体育館か校庭 木：体育館 金：校庭
土日どちらか：体育館（地域指導員による指導）
長期休業中は平日を練習日とし、土日祝日を休みとする。
- (2) 練習や試合等の計画
年に数回程度、他校のチームと練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、時間を守って行動する、正しい言葉や礼儀を養う。集団行動においては、ルールを守ることのできる生徒の育成をする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

3—2 地域指導員による指導方針

- (1) 指導の根幹は、バドミントン競技を好きになってもらい、生涯スポーツのきっかけとなること。
- (2) 仲間とともに切磋琢磨し、競技力の向上を通じて健全な心身の育成や人格形成を促す。

- (3) ブロック大会を勝ち抜き、都大会出場を目標として指導。なお、楽しくやりたい人も尊重する。
 (4) 効率的な技術力向上には自己分析（振り返り）や練習環境を整える。

4 指導内容・方法

- (1) 生徒の人権に配慮した指導
 体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導は行わない。
- (2) 生徒間の暴力防止
 運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮
 生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学期	月	内容
1 学期	4	◇市民大会
	5	部活動保護者会
	6	●第8・10地区選手権大会 ●Eブロック選手権大会
	7	●Eブロック選手権大会 ★夏季1・2年生大会
2 学期	8	小学生部活動体験
	9	◇市民大会
	10	小学生部活動体験
	11	●Eブロック新人大会 ●都新人大会
	12	★Eブロック冬季大会（1部）
3 学期	1	★都冬季大会
	2	★Eブロック冬季大会（2部）
	3	

●：中体連主催 ★：バドミントン協会主催 ◇：地域指導員の招待
 ※ ★の大会はバドミントン協会の登録が必要になる。